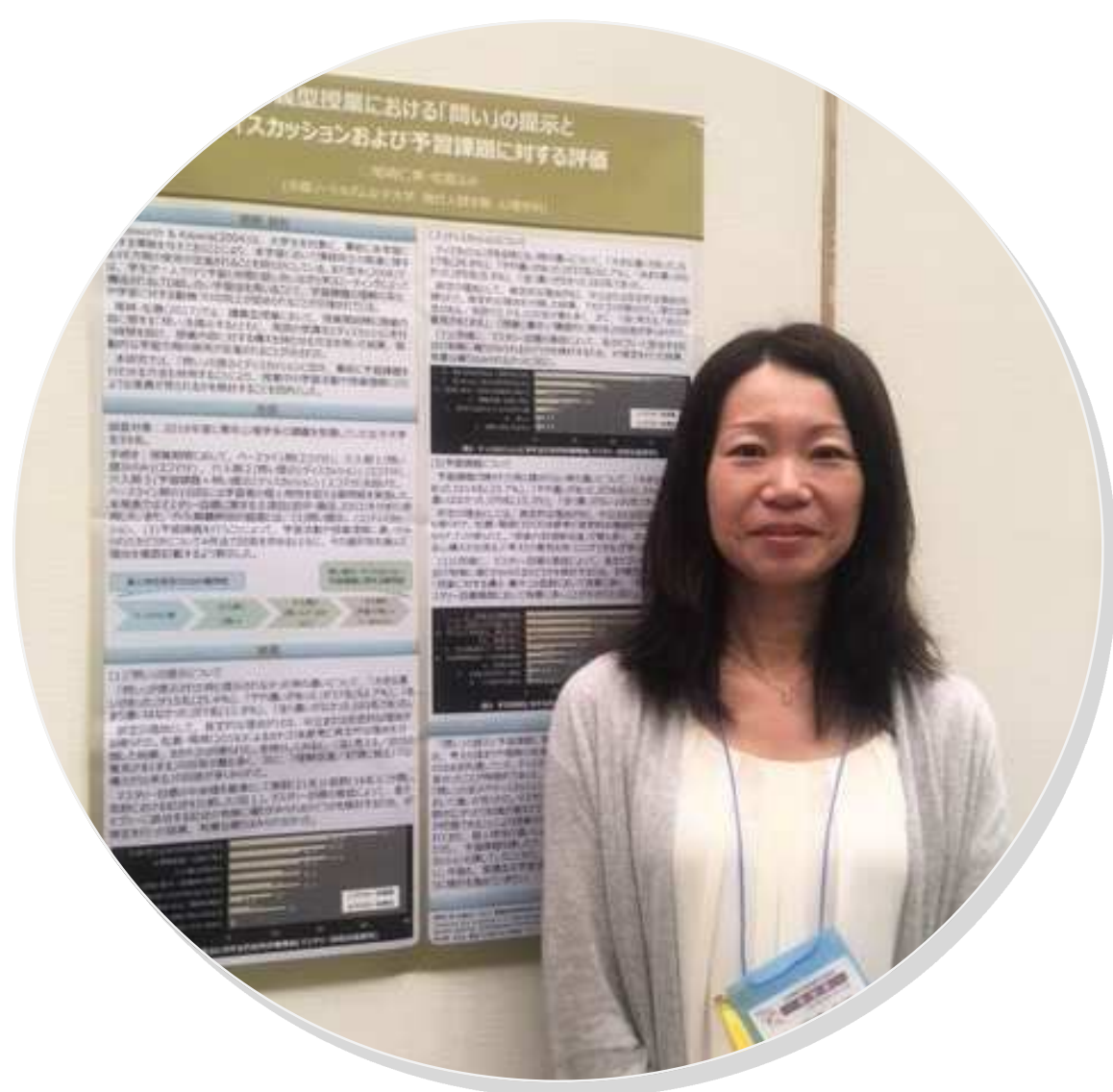


大学生におけるラーニングアウトカムの 発達軌跡を規定する要因

現代人間学部 心理学科
教授 尾崎 仁美

研究種目： 基盤研究(C)
研究期間： 2017年度～2020年度
研究分野： 教育心理学



本研究では、大学生活におけるどのような学び方、過ごし方が、学生の成長や学習成果(ラーニングアウトカム)に影響するのか、そのプロセス及びメカニズムについて、「発達軌跡」の個人差に着目し、量的調査・質的調査双方の方法により解明することを目的とする。

主な研究課題は、①大学生活における学び方・過ごし方に、どのような「発達変化の軌跡」がみられるのか、そしてその軌跡にはどのような学びや大学生活の軌跡が影響しているのかを「多変量潜在成長モデル」により解明すること、②大学生活におけるアウトカムの獲得を規定する要因について、面接調査からも裏付けし、ラーニングアウトカムの背景にある学びや大学生活について詳細に考察すること、である。①②により大学教育の実践的示唆を得ることを目的とする。

主な著書

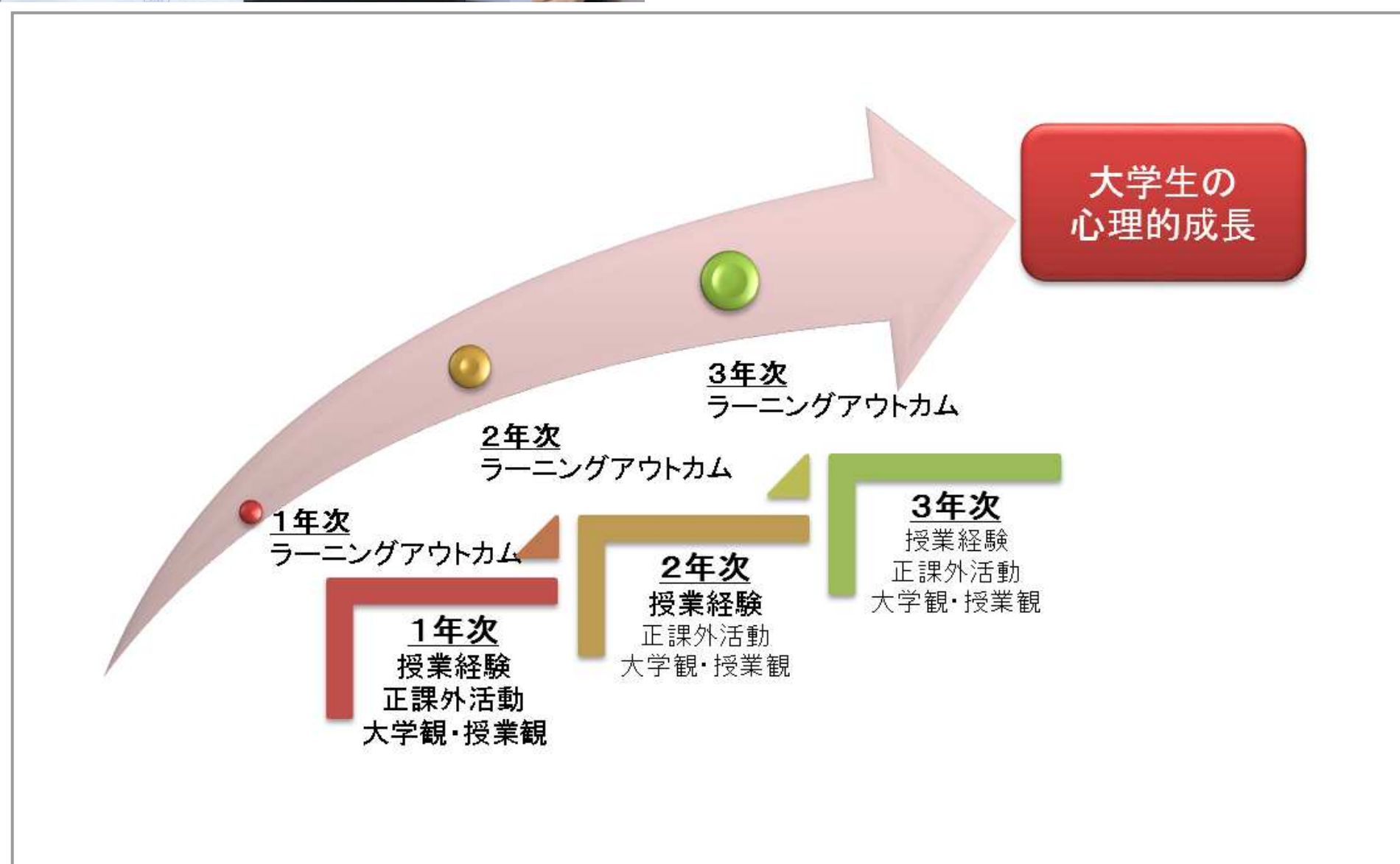
・大学授業観と大学適応感,学習意欲,学業的自己疎外感との関連—大学授業観尺度の作成と大学授業観タイプによる検討—尾崎仁美・松島るみ 京都ノートルダム女子大学研究紀要,39,1-16. (2009)

・大学生における学習意欲の変化とその関連要因—1年生を対象にした縦断的調査より— 尾崎仁美・松島るみ 京都ノートルダム女子大学心理学部・大学院心理学研究科研究紀要プシュケー,11,29-40. (2012)

・大学生のアイデンティティとその関連要因 松島るみ・尾崎仁美 京都ノートルダム女子大学研究紀要,43,1-13. (2013)



左:研究代表者
尾崎 仁美 准教授
右:研究分担者
松島 るみ 教授



京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793
電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp